

**ISO 規格発行の概要**  
**ISO 355:2019、 Rolling bearings – Tapered roller bearings**  
**– Boundary dimensions and series designations**  
(転がり軸受 – 円すいころ軸受 – 主要寸法及び系列記号)

2019年5月付にて、**ISO 355**(Rolling bearings – Tapered roller bearings – Boundary dimensions and series designations)第3版が発行されましたので、その経緯と主な改正内容を紹介します。

## 1. 経緯

この規格は、2007年7月に第2版が発行された後、2012年2月に追補1が発行されました。2017年の5月の**ISO/TC 4** (転がり軸受) アトランタ会議にて、内容及び追加寸法を含め、改正が決議され、今回の第3版の発行に至りました。

対応する**JIS**は、**JIS B 1512-3** (転がり軸受 – 主要寸法 – 第3部：円すいころ軸受)です。

## 2. 改正内容

表1～2に改正内容を示します。

**表 1 改正内容**

項目	記号	改正内容
記号の用語の変更	B <sub>1</sub>	“複列外向き軸受の内輪組合せ幅”から、 “複列外向き軸受の内輪組合せ幅”及び “間座付き背面組合せ軸受の内輪組合せ幅”に変更
記号の定義の変更	C <sub>1</sub>	“複列外輪の幅”及び“間座付き背面組合せ軸受の外輪組合せ幅”から、 “外輪フランジの幅”に変更
	C <sub>2</sub>	“外輪フランジの幅”から、 “複列外輪の幅”及び“間座付き背面組合せ軸受の外輪組合せ幅”に変更
図面の記号の追加と変更	α (接触角)	<b>図 1</b> ：記載位置の変更 <b>図 2、3</b> 及び <b>4</b> ：新たに追加記載
	C <sub>1</sub>	複列外輪の幅 ( <b>図 2</b> ) 及び 間座付き背面組合せ軸受の外輪組合せ幅 ( <b>図 3</b> ) から、 外輪フランジの幅 ( <b>図 4</b> ) に変更
	C <sub>2</sub>	外輪フランジの幅 ( <b>図 4</b> ) から、 複列外輪の幅 ( <b>図 2</b> ) 及び 間座付き背面組合せ軸受の外輪組合せ幅 ( <b>図 3</b> ) に変更
<b>図 4</b> の内容変更		フランジ付き外輪から、外輪フランジ付き円すいころ軸受に変更
<b>附属書 A</b> の <b>表 A.1</b> 及び <b>表 A.2</b>		C <sub>2</sub> から C <sub>1</sub> へ変更
参考文献の追加		<b>ISO 10317</b> 、 Rolling bearings – Tapered roller bearings – Designation system

表 2 改正前後の図の相違

	第 2 版 (改正前)	第 3 版 (改正後)
<p>図 1</p>		
<p>図 2</p>		

表 2 改正前後の図の相違 (続き)

	第 2 版 (改正前)	第 3 版 (改正後)
<p>図 3</p>		
<p>図 4</p>		

以上